

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社きもと(略称 KIMOTO) 上場取引所 東
 コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木本 和伸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山縣 敏雄 TEL 03-3354-0321
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年3月期第1四半期	5,995 23.5	254 —	209 —	45 —
22年3月期第1四半期	4,854 △34.5	△187 —	△164 —	△143 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	1.69	—
22年3月期第1四半期	△5.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	26,182	17,453	66.7	654.28
22年3月期	26,649	17,763	66.7	665.93

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 17,453百万円 22年3月期 17,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期(累計)	11,500 5.8	290 223.4	300 191.7	200 —	7.50
通期	24,000 4.6	920 281.8	950 219.0	640 447.1	23.99

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】３ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・☒無
新規 ― 社 (社名 ―) 、除外 ― 社 (社名 ―)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : ☒有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : ☒有・無

- ② ①以外の変更 : 有・☒無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年３月期１Ｑ	27,386,282株	22年３月期	27,386,282株
23年３月期１Ｑ	710,868株	22年３月期	710,828株
23年３月期１Ｑ	26,675,424株	22年３月期１Ｑ	26,675,454株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 7
販売の状況	P. 7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、前連結会計年度の第2四半期より本格稼働いたしました新規製造設備が、主力製品でありますハードコートフィルムの需要増大に応え、出荷量を大幅に増加させました。また、当第1四半期の売上高は、特に中国を中心としたアジア経済の好調を背景に、国内及び東アジアで大幅に伸ばいたしました。

利益面では、株式市場の低迷による投資有価証券評価損157百万円を特別損失として計上したものの売上増加に伴う大幅な増益要因の他、生産量の大幅な増加により固定費を吸収したことに加え、全社挙げての経費削減効果により営業利益、四半期純利益ともに大幅な増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,995百万円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益は254百万円（前年同四半期の営業損失は187百万円）、四半期純利益は45百万円（前年同四半期の四半期純損失は143百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期から、「セグメントの情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）に基づくマネジメント・アプローチにより、報告セグメントを「日本」、「北米」、「東アジア」、「欧州」の4区分としております。

また、セグメントごとの業績の前年同四半期増減率及び営業損失の金額は前年同四半期の所在地別セグメント情報の金額との比較を参考値として記載しております。

① 日本

ハードコートフィルムは、モバイル向けタッチパネル市場の更なる拡大とそれに対応した新規製造設備の稼働の上昇により売上及び利益が大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,204百万円（前年同四半期比21.0%増）、営業利益は223百万円（前年同四半期の営業損失は180百万円）となりました。

② 北米

ハードコートフィルムは、電子ペーパー用途向けの売上が大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は540百万円（前年同四半期比29.0%増）、営業利益は20百万円（前年同四半期の営業損失は13百万円）となりました。

③ 東アジア

小型液晶向け拡散フィルム及びフォトマスク用保護フィルムの売上が大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は130百万円（前年同四半期比616.4%増）、営業利益23百万円（前年同四半期比515.8%増）となりました。

④ 欧州

主力であります中小型インクジェットプリンターの新機種が売上に貢献いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は120百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業損失14百万円（前年同四半期の営業損失は24百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

① 資産

総資産は前連結会計年度末に比べ466百万円減少し、26,182百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加1,128百万円、有価証券の減少499百万円、受取手形及び売掛金の減少286百万円、有形固定資産の減少395百万円、投資有価証券の減少263百万円であります。

② 負債

負債は前連結会計年度末に比べ155百万円減少し、8,729百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金の減少106百万円、賞与引当金の減少144百万円であります。

③ 純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ310百万円減少し、17,453百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の減少34百万円、その他有価証券評価差額金の減少66百万円、為替換算調整勘定の減少209百万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様の66.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

タッチパネル用途の拡大により、ハードコートフィルムの生産量は当初の予想を上回る水準で推移しておりますが、為替市場及び金融商品市場は引き続き不安定な状態が続いており、景気の先行きが不透明なため、平成22年3月期決算発表時(平成22年5月14日)の連結業績予想の見直しは行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

【簡便な会計処理】

一般債権の貸倒見積額の算定方法は、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

税金費用の計算は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

【会計処理基準に関する事項の変更】

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は1百万円、税金等調整前四半期純利益は8百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は5百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,845	4,717
受取手形及び売掛金	6,341	6,627
有価証券	—	499
商品及び製品	853	917
仕掛品	915	951
原材料及び貯蔵品	503	448
繰延税金資産	199	197
その他	160	240
貸倒引当金	△61	△67
流動資産合計	14,758	14,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,344	4,518
その他（純額）	3,933	4,155
有形固定資産合計	8,277	8,673
無形固定資産		
その他	320	353
無形固定資産合計	320	353
投資その他の資産		
投資有価証券	1,730	1,994
その他	1,164	1,165
貸倒引当金	△69	△70
投資その他の資産合計	2,825	3,088
固定資産合計	11,424	12,116
資産合計	26,182	26,649

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,908	4,014
短期借入金	396	401
未払法人税等	40	69
賞与引当金	160	304
その他	1,060	900
流動負債合計	5,566	5,691
固定負債		
社債	197	197
長期借入金	1,517	1,557
退職給付引当金	1,357	1,336
その他	90	101
固定負債合計	3,163	3,193
負債合計	8,729	8,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	11,587	11,622
自己株式	△313	△313
株主資本合計	17,975	18,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93	160
為替換算調整勘定	△616	△407
評価・換算差額等合計	△522	△246
純資産合計	17,453	17,763
負債純資産合計	26,182	26,649

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	4,854	5,995
売上原価	3,578	4,453
売上総利益	1,276	1,542
販売費及び一般管理費	1,464	1,288
営業利益又は営業損失 (△)	△187	254
営業外収益		
受取利息	1	2
為替差益	25	—
物品売却益	—	9
株式割当益	—	6
その他	10	8
営業外収益合計	37	26
営業外費用		
支払利息	8	9
為替差損	—	59
その他	5	2
営業外費用合計	14	71
経常利益又は経常損失 (△)	△164	209
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	3
ゴルフ会員権売却益	—	20
特別利益合計	—	23
特別損失		
固定資産廃棄損	3	1
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	157
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7
特別損失合計	4	166
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△168	66
法人税等	△25	21
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△143	45

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

事業区分	前第1四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)
日 本	4,299	—	5,204	21.0
北 米	418	—	540	29.0
東 ア ジ ア	18	—	130	616.4
欧 州	117	—	120	2.1
合 計	4,854	—	5,995	23.5

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第1四半期の売上高は所在地別セグメント情報の外部顧客に対する売上高を記載しております。

3. 当第1四半期の前年同四半期比は、前第1四半期の所在地別セグメント情報の外部顧客に対する売上高との比較を参考として記載しております。